令和4年度　特例の教育課程の実施状況報告

1. 学校・市町村概要

緑風学園久志小学校

・教育目標:　　やさしく　たくましく　美知を磨く　緑風の子

・所在地　　●沖縄県名護市汀間

・児童数

	小学校								中学校					小中計
学年	1	2	3	4	5	6	特別支援学級	計	7	8	9	特別支援学級	計	
児童生徒	13	11	17	23	19	17	13	100	18	16	14	16	64	164
学級数	1	1	1	1	1	1	4	10	1	1	1	5	8	18

〇名護市概要【人口】63,309人【学校数】小学校11校、中学校6校、小中一貫校2校

2. 教育課程特例の取り組み・概要

ねらい

9年間の英語教育を通して、自国や他国の言語や文化について理解を深める。小学校1年生から英語に慣れ親しむことにより、積極的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。「聞くこと」「話すこと(やりとり・発表)」「読むこと」「書くこと」の総合的な力を育む。

3・取組の工夫:教科等の系統性・連続性を踏まえた学習指導【系統図や指導計画の作成

●小学校第1学年34時間, 小学校第2学年35時間の「英語活動」の授業を実施する。
●全児童生徒によるEnglish day(毎週木曜日)を実施する。
　例:挨拶・授業の号令・給食時の校内放送などを英語で行う
●毎週木曜日の朝活動で, English Time(15分)を実施する。
　例:1,2年生 Song, Story 、 3～6年生 Story, Chants, Song 、7,8,9年生　リトルチャロ、到達度・入試対策

1・2年生の外国語活

ハロウィンで4年生が1～3年生にクイ

Chromebookを使って

7年生が6年生に中学校紹介をしていま

4. これまでの成果と課題、今後の取り組み

〇1, 2年生はアドバイザーの高澤夫妻の協力を得て、よんなーよんなープランに取り組んだ。
〇3～6年生は担任と英語教育推進教師よALT、JETが協力して授業を行うことで、きめ細やかな支援や評価のみとりができた。
〇中学生はchromebookを活用した授業を行い、トルコとの交流を行うことができた。
▲小中教師の乗り入れの授業を行うことが難しかったため、公務分掌や時間割の調整を行い、小中一貫教育校の特色を生かした授業をおこなっていきたい。
▲よんなーよんなープランを行う良さもあるが、全員の定着を図ることが難しかった。検討、改善が必要。